

工業技術支援アドバイザーの紹介

(株)結人

坊岡 正之 (ぼうおか まさゆき)

【専門部門】 福祉工学

【専門分野】 リハビリテーション工学、生活支援工学、福祉用具の開発・適応評価

【略歴資格等】 広島国際大学リハビリテーション支援学科 教授
介護福祉士、住環境コーディネータ 2 級



【アドバイザーから一言】

平成 27 年度版高齢社会白書(厚生労働省)によると、65 歳以上の高齢者人口は、増え続けており、2035(平成 47)年には国民の 3 人に 1 人が高齢者になると推計されています。また、加齢による身体機能や認知機能の低下は、高齢者の日常生活における自立度の低下にも影響を及ぼし、介護を必要とする高齢者が増加すると考えられます。しかし、我が国の現状は、成人人口の減少や核家族化による家庭介護の限界から、介護が必要な人に十分な介護を提供できる環境ではありません。

このような人による介護の限界を打破するのが、福祉用具(介護用具)です。車いす等の移動支援や、食事・排せつ支援等に対応する福祉用具(介護用具)が必要とされています。

しかし、福祉現場のニーズと企業のシーズのマッチングが必要と言われてはいますが、お互いが共通の言語で情報共有することが出来ないため、困難な状態です。私は、専門である工学と福祉現場で働いた経験を基に、ニーズ/シーズのマッチングにお役に立てると思っています。

【研究内容の紹介】・【賞歴】・【その他】

自走用標準型車いす及び介助用標準型車いす等の後輪タイヤで用いられる空気バルブは、英式バルブと呼ばれ自転車と同様の構造です。この英式バルブは、タイヤ内の空気漏れを防ぐ目的で虫ゴムが使用されており、外部から直接タイヤ空気圧の測定は出来ません。

しかし、福祉現場においては、車いすのタイヤ空気圧が減少し駐車ブレーキが効かなくなり、移乗時に転倒するという事故が発生しています。私たちは、福祉現場で使用される車いすのタイヤバルブに直接取り付けタイヤ空気圧を表示する「車いす用タイヤ空気圧表示器」の開発を行いました。

現在、市販モデルの製作に取り組んでいます。



【HP・Facebook】 広島国際大学リハビリテーション支援学科 <https://www.facebook.com/re.HIU>